

中村りかこ通信



ブログ更新中

衆議院戦公明党への温かいご支援ありがとうございました

平成24年第4回定例会が12月14日に閉会しました。

11月21日から12月14日まで、平成24年第4回定例会が開催されました。一般会計補正予算、国保特別会計補正予算、介護保険特別会計補正予算、後期高齢者医療特別会計補正予算、地域主権一括法による条例改正15件、指定管理者の指定について4件、災害復旧工事の契約8件等々、計39件の議案を審議しました。一般会計補正予算では、歳入で法人税810,000千円増収、歳出では、復興交付金活用の工事の契約差金114,740千円減額、複合的な要因から一般会計22,950千円減額補正があり、災害復旧等で起債予定であった臨時財政対策債475,000千円が、全額減額補正されました。
★ 市民の皆様からご要望のいただくことの多かった工事が開始されます。復興交付金を活用し液状化対策を行う新浦安駅前広場およびシンボルロード、舞浜駅および周辺道路の復旧工事です。事業期間は、平成25年12月27日までになります。

国民健康保険税が平成25年度から引き上げになります

国民健康保険税の引き上げについては、以前から様々な問題が指摘されており検討されておりました。主な問題点として以下の3点があります。

1. 国民健康保険特別会計の歳入に占める保険税の割合が、毎年減り続けており、更に医療費が増加し続け、歳出が増えている。
2. 国保事業の赤字補てんとして、一般会計からのその他繰入金割合が被保険者一人当たりの金額が他市と比べて高額である。特に、本市は国民健康保険加入者の割合が全対象者の2.2%となっていることから、国保事業への赤字補てんのために一般会計からの繰入金を行うことは、その他の健康保険組合の加入者である市民が国保へ二重負担をしているという状況になっている。
3. 広域連合が運営する後期高齢者医療制度保険料と浦安市が運営する国民健康保険料の逆転現象が起ってしまっている。

以上の問題の解決をしなければならないことと、また、今後、国保事業が広域化される方向であることから近隣市との保険料の平準化も徐々に行っていかなければ加入者への負担が急激になることが想定されることから保険料の引き上げは必要でありました。

保険料はどう変わのでしょうか。モデルケースで試算してみると

(40歳以上の夫婦+子2人、夫の年収500万円、妻収入なし)

年間保険料 現状 33万5100円 ⇒ 平成25年度から35万6600円

(ちなみに近隣8市(市川・船橋・松戸・野田・柏・流山・我孫子・鎌ヶ谷)の年間保険料平均は47万3900円です)

★皆様の声を市政に！中村りかこは全力で働きます！

公明党捜査 (350)1202

e-Mail ; n.ricaco@com.home.ne.jp



指定管理者の指定について

委託期間終了に伴う指定管理者指定の議案（身体障がい者福祉センター、浦安市ソーシャルサポートセンター、弁天保育園、青少年交流活動センター）の4件が審議されました。その中の一つ、ソーシャルサポートセンター運営委託では、精神障がい者の方々の地域活動支援センターの運営と共に、訪問看護事業を開始する提案がありました。浦安市で初めての訪問看護事業は、精神保健福祉士と看護職員のチームで、訪問看護を実施することで、相談事業を強化できるというものです。私個人としては、訪問看護事業の制度ができることで、精神障がいの方々のサポートが進められ、社会参加につなげていけるのではないかと大変期待しております。

12月議会一般質問

12月の一般質問では、件名1. 市の教育施策について 要旨1 「いじめ」から子ども達を守るために 要旨2 不登校・ひきこもり支援について
件名2. 当代島地域について 要旨1 公園整備について 要旨2 市道1-1号についての件名2件を質問いたしました。

件名1の「いじめ」から子ども達を守るための質問では、

「いじめ」はなくなるものではありませんが、「いじめ」により心に深く傷を負い夢や希望を失ってしまう子ども達や、最悪自らの命を絶ってしまう子ども達を「いじめ」から守ることはできるのではないかとこの視点で質問いたしました。いじめ研究で有名な内藤朝雄氏は日本の学級制度には、いじめを増長させる要因が揃っていると主張しています。その要因とは、「固定化された閉鎖空間の中で、集団生活の秩序を子ども達の不安定な心や気持ちによって保っている状態」であることとしています。そのような閉鎖空間では、その場のノリでちょっとした「いじめ」がいつも簡単にエスカレートし、深刻ないじめに発展していきます。

そこで、私は今回の質問では、「いじめ」がわかったときにどう対処するかではなく、「いじめ」を深刻化させないための学級集団を作っていくことがとても大事なことだと訴えました。大事なことは、子ども達の心のケアと学級集団の満足度を高めることです。そこでその二つの状況を調査し把握することができるQ-U調査（Questionnaire-Utilities～楽しい学校生活を送るためのアンケート調査）を活用し、学級で取り組むべき課題を確認し、又、何かしらの不適応を示した児童生徒には、個別の予防対策が取れるのではないかと提案しました。教育委員会からは、市で行っている現状の取組を充実させていきますとの答弁で、Q-Uを活用する考えがないことが示されました。とても残念な答弁でしたが、引き続き、要望していきたいと思っています。

件名2の当代島地域については2点、要望いたしました。

1点目は、大川端児童公園について、以前、公園内が暗いなどのご要望から、外灯を設置していただいた経緯がありました。また、変則的な敷地形状で死角になる場所が危ないので、整備をしてもらいたいとのご意見がありましたので、今回議会で公園整備を要望いたしました。都市環境部長からは、平成25年度以降に隣接する市の老人クラブ跡地を利用して拡張し、広場の整備を行う公園化を考えていますとのご答弁をいただきました。元町地域の貴重なオープンスペースとしての公園整備ができる予定です。

2点目として、大川端児童公園の横、旧江戸川沿いの市道1-1号の安全対策についてです。この道路は形状が複雑で、事故が多く、住民の方々が大変困っていらっしゃいました。そこで、安全対策をしてほしいと要望いたしました。都市整備部長より、安全対策として幅員減少の警戒標識やスピード落とせ等の注意喚起看板の設置を検討していきたいとの答弁をいただきました。（12月20日早速、交通安全課が対応してくださいました。）これからも市民の皆様のお声を市政に届けていきたいと思います。